

令和4年度 奈良県防災士会総会

令和4年5月29日(日)に令和4年度総会を、奈良公園バスターミナル「レクチャーホール」にて開催しました。冒頭、末田理事長より、「日頃より会員の皆さまの防災に関する諸活動に感謝するとともに今後も当会を援助いただきたい。」との挨拶がありました。司会者である古瀬副理事長より、総会議長の指名があり、本年度も総会議長は奥田副理事長に大役を務めていただきました。

議案については予定されていた6つの議案の通りで、末田理事長、八幡領理事(事務統括)、板垣理事(会計)、堀田監事、植村副理事長(選挙管理委員)より提案がなされ、審議したところ、全て原案通り可決となりました。なお、全ての議案に対する質問、意見、要望はありませんでした。

- ・総会構成員 正会員133名中、出席41名、委任状提出64名
- ・開始終了時刻 13時30分から14時20分

<報告者：八幡領防災士>



理事長挨拶

この度の理事会で二期目となる理事長の任を仰せつかりました末田政一です。前期はコロナ禍の影響で多くの訓練や講義が中止となり、研修会の開催も自粛せざるを得ない中で、今までとは全く違う対応に追われた2年間でした。まだまだ感染状況の先が見えない状況ですが、「出来ることを、出来る時に」という基本に戻って前向きに取り組んでいく所存です。

令和2年度と3年度の総会は感染拡大防止のため書面決議となりましたが、本年度は3年ぶりに開催することが出来ました。感染対策のため総会は正会員だけで行い、研修会はオンライン併用になりましたが、会員の皆様に直接お話が出来る機会が持てたことが、何より嬉しく存じます。

各地で災害が多発している中で、地域における防災士の役割は益々重要になってきています。12月にはスキルアップ研修会を予定しています。奈良県防災士会には様々な分野の素晴らしい方がたくさんいて、一人ひとりの得意分野で活躍されています。練習や勉強も大切ですが、情報と親睦を求めて是非ご参加の程よろしくお願い致します。

活動報告

■2022年(令和4年)1月～7月末の活動 ※参加人数は、主催者発表による。

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
1/12(水)	川西町赤十字奉仕団防災講座 「地震災害について」	川西町	川西町赤十字奉仕団	18人
1/13(木)	女性防災推進委員会 第3回委員会	—	日本防災士会	23人
1/17(月)	知的障害者相談員強化事業研修会 第1回「水害タイムライン～知的に障がいのある人の支援を考える～」	奈良県	奈良県手をつなぐ育成会	44人
1/17(月)	奈良市防災リーダー研修 午前の部、午後の部「マイ・タイムライン」	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	各70人
1/18(火)	奈良県防災プラットフォーム連絡会 定期会議(第3回)	奈良県	奈良県社会福祉協議会	—
2/10(木)	女性防災推進委員会 第4回委員会	—	日本防災士会	24人
2/12(土)	日本防災士会支部長会議	—	日本防災士会	39人
2/15(火)	奈良県防災プラットフォーム連絡会 定期会議(第4回)	奈良県	奈良県社会福祉協議会	—
2/20(日)	キッズつげザー「目指せ防災士」	奈良市	都祁公民館	13人
3/3(木)	防災学習1年生2年生対象「ひとりHUG」	奈良市	都祁中学校	73人
4/14(木)	女性防災推進委員会 第1回委員会	—	日本防災士会	23人
4/19(火)	奈良県防災プラットフォーム連絡会 定期会議(第1回)	奈良県	奈良県社会福祉協議会	—
4/24(日)	避難所運営ゲーム(HUG)	王寺町	王寺町防災士ネットワーク訓練部会	19人
4/27(水)	地方議員連絡会 令和4年度総会・研修会	—	日本防災士会 地方議員連絡会	30人
4/28(木)	第22回 関西広域連合協議会	—	関西広域連合協議会	1人
5/12(木)	女性防災推進委員会 第2回委員会	—	日本防災士会	24人
5/16(月)	三郷中学校2年生防災訓練	三郷町	三郷町教育委員会	197人
5/16(月)	第3回 大和川流域水害対策協議会	奈良県	大和川流域水害対策協議会	—
5/19(木)	高取町介護支援専門員連絡協議会 防災講演会	高取町	高取町介護支援専門員 連絡協議会	31人
5/22(日)	葛城市防災士会総会	葛城市	葛城市防災士会	49人
5/29(日)	奈良県防災士会 令和四年度定期総会	—	奈良県防災士会	41人
5/29(日)	奈良県防災士会 令和四年度記念研修会	—	奈良県防災士会	87人
6/3(金)	山辺高校講演 「災害につよいまちづくりと、地域での支え合いをめざして」	奈良市	奈良県立山辺高等学校	200人
6/4(土)	耳成地域子ども教室「SDGsってなに？」	橿原市	耳成地域子ども教室実行委員会	42人
6/5(日)	時系列の防災行動計画タイムライン	三郷町	三郷町総務課	27人
6/9(木)	女性防災推進委員会 第3回委員会	—	日本防災士会	20人
6/11(土)	「命をまもるために」 ～地域における自主防災活動～	葛城市	新庄区自主防災委員会	28人
6/12(日)	平群町社会福祉協議会 職員研修 (県社協出前講座)	平群町	平群町社会福祉協議会	22人
6/18(土)	耳成地域子ども教室 「SDGs 安全な水 海の豊かさを守ろう」	橿原市	耳成地域子ども教室実行委員会	55人
6/18(土)	日本防災士会 令和四年度通常総会	—	日本防災士会	—
6/18(土)	日本防災士会理事会	—	日本防災士会	—



6/25 「NHKニュース・防災アプリ」および「スcoopBOX」説明会の様子

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
6/25(土)	「NHK ニュース・防災アプリ」および「スcoopBOX」説明会	—	NHK奈良放送局 経営管理企画センター 放送部	24 人
6/26(日)	イメージ TEN 形式の災害対応訓練	三郷町	三室自治会	34 人
7/7(木)	都祁中学校「地震対応練習」	奈良市	奈良市立都祁中学校	104 人
7/7(木)	安堵町民生・児童委員社協防災研修 (県社協出前講座)	安堵町	安堵町社会福祉協議会	約 20 人
7/8(金)	防災関係団体情報交換会	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	14 人
7/12(火)	奈良県防災プラットフォーム連絡会 定期会議(第 2 回)	—	奈良県社会福祉協議会	—
7/14(木)	平群町地域包括支援センター ケアマネージャー研修	平群町	平群町地域包括支援センター	17 人
7/20(木)	女性防災推進委員会 第 4 回委員会	—	日本防災士会	17 人
7/23(土)	子ども防災フェスタ「今こそ防災!!」	葛城地域	葛城青年会議所	約 50 人
7/29(金)	災害ボランティア養成講座	三宅町	三宅町社会福祉協議会	21 人

■連続講座 平群町教育委員会主催

月/日(曜)	連続講座内容	場所	参加人数
6/4(土)	くらしに活かす防災講座 第一回「災害に備える」	中央公民館	8 人
7/2(土)	くらしに活かす防災講座 第二回「どうする？大地震が起こったら」	中央公民館	9 人

■連続講座 三郷町社会福祉協議会主催

月/日(曜)	連続講座内容	場所	参加人数
7/30(土)	防災連続講座 第一回「災害に備える」	社会福祉保健センター	14 人

■ラジオ・新聞・テレビ関連

月/日(曜)	番組名、取材テーマ	主催者又は要請団体	出演
1/19(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	村山監事
2/2(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	末田理事長
2/23(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	大北理事
3/2(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	石川理事
3/18(金)	「ひとりHUG」の内容とインタビュー	ならどっとFM	末田理事長

今後の活動予定

■奈良県防災士会スキルアップ研修会

日程：2022 年 12 月 18 日(日) 場所：三宅町文化ホール

※時間、内容は別紙チラシをご参照ください。

■総会記念研修会講演

令和4年5月29日(日)15:30から、奈良県バスターミナル レクチャーホールにおいて、記念研修会が開催されました。今回講演の様子は、会場とZOOMを使用したリアルタイム配信で行い、会場70名・オンラインで17名が参加。日本防災士機構事務総長 日本防災士会参与の橋本茂様を講師にお迎えし、テーマ「自助+共助は無限大」～令和新時代の防災士の役割を考える～について講演頂きました。



(橋本様は奈良県防災士会の設立からNPO法人化に至る経緯で、大変お世話になった方となります)
主な内容として、

①防災士の現況

- ・全国で約23万人の防災士認証登録者数があり、その内18～20%が女性防災士である。

②戦後の防災対策の変遷

- ・昭和は毎年のように1000人を超える災害が発生していた。平成に入り行政依存から住民が主体となる「自助と共助」の考え方や、事前に対策する「減災」の考え方に地域防災はシフトチェンジした。令和は国難となる災害が目前に迫り、「国民防災力の底上げ」が必要。また行政がハッキリと物言う時代となり、熊本県球磨村の地域防災計画を例に、「役場は万能ではなく、避難する・しないは住人の判断である」として、行政だけでは住人の命は守れない事を明言している。

③防災士に求められる役割・・・防災士の基本としては以下の3つである。

「自分と家族、我が家を守る」「職場、事業を守る」「地域に貢献する」、そして現場主義に立ち地域の人々にわかりやすく防災・減災の具体的なノウハウを啓発する事を組織的に行えるのは、防災士だけと言える。

④その他として、各地で訓練・講演・被災地支援を行う防災士の活動状況や、高校の先生が防災士資格を取得して以降、その学校の防災活動が大きく前進した事例を説明頂きました。

スライド資料最後の言葉「理想は大きく、行動は小さなことの積み重ねで」は、今後防災士として活動する際には、心に刻んでおきたいと思いました。
＜八木沢防災士＞

■奈良県手をつなぐ育成会研修会

1月17日(月)奈良県社会福祉総合センターにおいて、一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会主催の研修会が、44名の参加のもと行われました。知的障がい者相談員さんが対象の研修会で、奈良県防災士会の植村が講師を務めました。講演のテーマは、「先手防災、どう動く」“時系列の防災行動計画 タイムライン”です。相談員のみなさんは、タイムラインは初めてなので、ハザードマップから学んでもらいました。今回は、水害(台風)編でしたが、退避計画が無事、完成しました。2回目は、地震のタイムラインを学んでいただきます。
＜板垣防災士＞

■キッズつげザー「目指せ防災士！」

令和4年2月20日(日)、奈良市都祁公民館において、「キッズつげザー目指せ防災士」が行われ、9名のキッズと保護者2名が参加されました。キッズつげザーは「都祁の子集まれ！」というネーミングの連続講座で、昨年度の消防団体験に続いて都祁の防災教育の一環です。

今回は目指せ防災士ということで、まずは自分の身を守ることと、それを伝えることを目標として、地震に対してはシェイクアウトを体験、台風や大雨(大雪)に対しては「逃げキッド」を活用したマイ・タ

イムラインで勉強しました。国土交通省の逃げキッドはキッズでも簡単に作成できます。避難所体験では三大防災グッズの「笛」「LED ライト」は配布して、スリッパは新聞紙で工作をしました。最後に「〇×クイズ」でおさらいをして、1 時間半はあっという間に過ぎ、みんな飽きずに防災体験を楽しんでくれました。

最初は「防災訓練とか面白くないから参加しない」と言っていた子たちも、都祁は他とは違う先進的な防災体験をやっていることを紹介すると、興味深く目を輝かせて「みんなに教えてやろう」と言ってくれました。都祁では中学生も頼りにしていて防災学習を続けていますが、高齢化が進んでいる中で、キッズたちの意欲は心強く感じました。

＜末田政一 防災士＞



■都祁中学校ひとりHUG

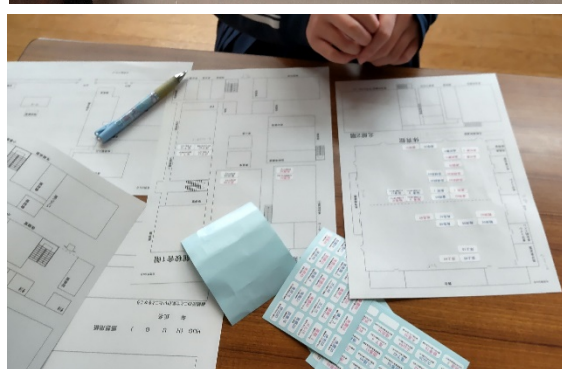
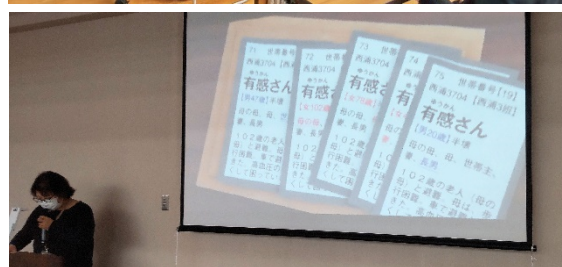
令和 4 年 3 月 3 日（木）、奈良市立都祁中学校において 1 年生 2 年生全員を対象とした防災学習が行われ、都祁地区自主防災会長でもある末田防災士が「ひとり HUG」を行いました。都祁中学校では防災学習の一環として毎年 HUG（避難所運営ゲーム）を実施してきましたが、コロナ禍で HUG が難しい中で新しい試みとして、密にならない「ひとり HUG」を考案しました。HUG は静岡県 の著作物なので、新方式の使用許諾を得た上での実施です。

通常の HUG は、避難者に見立てたカードをグループ単位で模造紙サイズの学校平面図に並べていきますが、このやり方だとカードを共有したり顔を突き合わせたりして、どうしても密になってしまうためコロナ禍では実施困難な状況でした。そこでひとり HUG では、A4 サイズの平面図にタックラベルを貼っていく方式を採用、掲示板も個々に作成します。個人単位なのでカードの読み手は学校の先生にお願いして、カードは実物投影機で映しました。タックラベルは小さくて剥がせるシールを利用して、体育館・校舎・校庭の A4 平面図に貼ったり書き入れたりしてもらいました。

学校での防災教育なので、1・2 限目、3・4 限目、5・6 限目と 3 クラスに分けて 3 回実施しました。昨年度はコロナ禍で中止になったため、唯一 HUG 経験者の 3 年生は卒業間近で今回は出来なかったため、受講の生徒はみんな HUG 未経験でしたが、さすが中学生は飲み込みが早く、短い説明でも直ぐ順応して楽しみながら進めてくれました。

カードの内容や進行、意見交換は通常のままで、平面図だけ都祁中学校をシールのサイズに合わせて作成しました。都祁地区では指定避難所ごとに避難所運営マニュアルを作成していて、都祁中学校のマニュアルには使用する教室や立入禁止場所等の記載もあるのですが、ひとり HUG ではあえてそれを伝えず生徒たちには自由に貼ってもらいました。学校のことをよく知っている生徒たちなので、我々が思いも寄らない発見もあったので、次回の避難所運営マニュアルに反映していきたいと思っています。

次ページに感想文を少しだけ紹介します。



- ・コロナにも気を配りながら考えて貼っていくのが楽しかった。
- ・学校が避難所になるということを考えたことがなかったが、そうになったら手伝いたいと思った。
- ・掲示板とかに現状を書いておくと良いと思った。
- ・やってみてわからないことがあったのは普段の防災意識の低さかなと思ったので、今後は防災や避難について関心を深めたい。
- ・もし自分が避難所に行く立場になったら、運営している人に感謝するべきだと思いました。
- ・避難所は避難するだけなのでそんなに難しくないと思っていたが、いざやってみると大変だなと思いました。
- ・学校は広いけど個室はあまり多くないと思いました。
- ・焦っていたらいつまでも問題に向き合えないと気付きました。
- ・避難所はみんな適当に寝ていると思っていたけど、ちゃんと考えられていた。
- ・こんなことが実際に起こったら怖いと思いました。
- ・学校は安全な場所だと思っていたが違っていたことに気付いた。

ひとり HUG の課題として、中学生は問題なく対応してくれていましたが、避難者シールを貼るのも掲示板を書くのもひとりなので、イベントが発生する度に時間に追われてしまうことと、タックシールの印字が非常に小さく、高齢者が行う際には虫メガネ持参が必須になることです。それ以外は思った以上にいい感じで進行出来ました。コロナ禍で HUG をやりたくても出来ない方は多いので、この新方式は今後の選択肢のひとつになると思いますが、ひとり HUG を実施される際には使用許諾申請の提出や様々な制約がありますのでご注意ください。

＜末田政一 防災士＞

■三郷中学校 2 年生防災訓練

2022 年 5 月 16 日（月）生駒郡三郷町の三郷中学校体育館において、教育委員会主催による「2 年生の防災訓練」が行われ、2 年生の生徒約 190 名が参加しました。講師陣として奈良県防災士会より植村相談役が参加。三郷町役場職員、消防団第 2 分団、西和消防署職員と三郷町自主防災ネットワークから 9 名の町内在住防災士が参加しました。訓練は講演と実技訓練の 2 部構成で行われました。

冒頭、森宏範町長によるごあいさつの後、奈良県防災士会・植村相談役による「災害に備える」という題目で講演があり南海トラフ巨大地震に関する動画視聴の後、「災害へどう備えるか」「災害が起きたらどうすれば良いか」について語られ、中学 2 年生の生徒たちに「高齢者や小さな子供たちに手を差し伸べてほしい、避難する際や避難所でまわりの大人たちの手の届かない避難者への手助けなど出来ることで良いのでお手伝いをしてあげてください」といった内容のお話をされました。



講演の後は実技訓練となり、1. ダンボールによるブロック塀倒壊体験（植村相談役）、2. 男子女子別の非常持ち出し袋（三郷町自主防災ネットワーク）、3. 危険箇所クイズ（三郷町自主防災ネットワーク）、4. ダンボールベッドの組み立て（役場職員）、5. 応急手当（消防団）、6. AED 講習（西和消防）の六つのブースを用意し、6 クラスの生徒が 20 分ごとに各訓練をローテーションするという形式で実技訓練を受けました。

どのブースでも生徒たちは熱心に取り組んでおり、これまで知らなかったことや初めて体験することもあり非常に有意義な防災訓練となったようでした。

最後に三郷町自主防災ネットワークの代表として奈良県防災士会から北村防災士が講評を述べ、生徒代表から感謝の言葉を受け取り閉幕となりました。

＜北村厚司 防災士＞

■高取町介護支援専門員連絡協議会家族介護教室

令和4年5月19日（木）高取町リベルテホール大研修室において、高取町介護支援専門員連絡協議会（たかとりケアマネ会）主催の家族介護教室が行われました。奈良県安心安全まちづくりアドバイザーとして奈良県防災士会から2名が派遣され、村山防災士が「災害時に役立つ小技」と「身近な物を使った応急処置」をテーマに講演と実技を指導しました。31名の参加者は「ハンカチと手による圧迫止血」や「レジ袋の腕吊り」、「新聞紙スリッパ」や「新聞紙とレジ袋のマイティイレ」の作成に熱心に取り組んでおられました。



参加者アンケートでは「参考になりました。帰って孫等と実施してみます。」「災害（地震等）は確率が低くても来る可能性があるという認識でいる事を心に留めたいと思います。」「また機会がありましたら、参加させて頂きたいと思います。」などの声が寄せられました。日頃から身体を使って体験し、正しく恐れて生活する大切さを実感する講演会となりました。

＜小山防災士＞

■耳成地域こども教室

6月4日（土）は耳成小学校、6月18（土）は耳成南小学校において、耳成子ども教室で防災教室をしました。今年度は「SDGsから災害を考える」をテーマに、耳成小学校では42人の児童と「SDGsってなに？」を一緒に考え、耳成南小学校では55人の児童と子供向けSDGs番組の動画を見ながら「安全な水 海の豊かさを守ろう」について学びました。



SDGsの17の目標は一つ一つはごく当たり前のことばかりですが、世界を見るとゴールまでは遠そうに見えます。未来を担う子どもたちとSDGsについて考えられてよかったです。＜大北防災士＞

奈良県で大規模災害が発生したら

コロナ禍により災害時のボランティア活動も変わりました。

県外からのボランティアの受入れが難しい状況も続くかもしれません。

奈良県が被災地になった時に備えての心構えと、奈良県防災士会会員としてどう動くのかを考えてみました。

被災地支援について日本防災士会（本部）は、以下が基本となっています。

- （1）一義的には被災地県の支部が対応する。
- （2）県支部を支部連が支援する。
- （3）支部、支部連を本部が支援する。
- （4）日本防災士機構の被災地支援チームや一般防災士と連携する。

ただ、奈良県防災士会としては具体的な行動指針を提案できていません。しかし、防災士の理念に基づいて行動すれば良いのではないのでしょうか。

- （1）自助・・・自分の命は自分で守る
- （2）共助・・・地域、職場で助け合い、被害拡大を防ぐ
- （3）協働・・・市民、企業、防災機関、自治体、社会福祉協議会等と協力して活動する

特に、昨今は災害ボランティアの力を抜きに災害復興支援は成り立ちません。

ですから、

- （1）被災地では、自治体、社協、自治会、自主防災会等と連携しての災害復興支援活動
- （2）被災地外の防災士は、被災地で頑張る防災士への支援と、外部からの支援をどう受け入れ、誘導し活動するか、すなわち災害時受援力が問われます。

今後の大切な課題としてお互いに考えてみませんか。

NHK 防災コンテンツ「ニュース・防災アプリ」「スクープ BOX」のご紹介

NHK ではテレビ、データ放送、ラジオ以外に WEB・スマホを利用した情報の多重発信を行っています。先日理事会の折に NHK 奈良放送局の担当者様から説明を頂きました。

●「NHK ニュース・防災アプリ」

画面構成は「ニュース」「天気予報」「マップ」「災害情報」「ライブ・番組配信」で、自分の現在地・登録地点の天気や災害情報がすぐわかるようになっていきます。秀逸なのがマップで、雨雲データや表示を切り替える事で全国各地の洪水や土砂災害のハザードマップを表示でき、指定河川のライブカメラが確認できる機能もあります。災害発生時には「ライブ・番組配信」により、最新のニュースを入手できるので、停電等でテレビが映らない状況下での心強い情報源になると思います。



●「スクープ BOX」

防災が専門である防災士の皆様からの情報提供のご協力を頂きたいこと。

- ①現場の映像の撮影と提供
- ②現場状況の説明（レポート）
- ③平時の防災活動での連携



【映像の撮影方法についての注意】

- ・撮影時は自分の安全を第一に、絶対に危険な場所には近づかない。
- ・カメラは本体を横にして、レンズに指がかぶらないようにする。
- ・1 カット 10 秒ほどで全体で数カットあれば十分。

奈良県防災士会と NHK 奈良放送局は連携協定を結んでいます。今回の説明会は会議の際に来て頂いたため役員と事務局のみの参加となりましたが、この2つのアプリを会員の皆様にも知って頂きたいので広報誌で紹介します。是非ご活用とご協力をよろしくお願いします。

事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、

「奈良県防災士会」で検索！

奈良県防災士会のウェブサイトでは、会員のスキルアップのため、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしていますが、新型コロナウイルスの影響で、現在見学案内は最小限に留めています。

会場定員の都合で予約制となります。見学を希望される方は、事前に事務局までメールで申込をお願いします。

投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebook ページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

●送り先 **mail@bousainara.com**

●テキストおよび写真（肖像権など差支えないもの）をお送りください。



奈良県防災士会の Facebook を公開し、さまざまな情報をアップしています。「いいね！」をよろしくお願いします。

「Facebook 奈良県防災士会」で検索

■発行日 2022 年 8 月 20 日
■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一
〒632-0221 奈良市都祁白石町 1192-190
■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail mail@bousainara.com
■FAX 0745-61-1878
■ウェブサイト <http://bousainara.com>
■Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>